



鶏けいめい鳴

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

イエスの言葉

『わたしが来たのは、

正しい人を招くためではなく、

罪人を招くためである』

聖書(マルコ福音書2章17節)

牧師 河合裕志

ガリラヤ湖の北岸、カファルナウムの町には収税所が置かれていた。そこを通る人々から通行税や物品税を徴収するために、この業務に当るのが徴税人。この人達は人々からとっても嫌われていた。それは仕事上、外国人と接触することから汚れているとか、支配者ローマに貢ぐ売国奴とか、税額をごまかす者もいたので盗人とか呼ばれていた。そんな連中とは交際するな、と。

そうした一人がレビだった。自分が人々から低く見られている、憎まれていることはよくわかっていた。他の仕事とも考えられたけれどなかなか就職は困難。それで因果な仕事を続けていた。

そんなある日のこと。レビが収税所に座っていると、『わたしに従いなさい』と声をかける者があった。それはイエスだった。これを聞くとレビは「立ち上がってイエスに従った」。こんなことってある？ 信じられない。でもあったんでしょう。

レビはイエスのことを知っていたと思う。イエスのわざや教えを直接見たり聞いたりすることがあったろう。とに角イエスは超有名人だから。そして見聞するほどに強く心引かれるものがあったのでは。人をバカにしない、差別しない、その優しい人格。

あるいはこの人は神の子、メシア(救い主)ではないか、といった思いも頭をよぎったのでは。

だから今、イエスから声をかけられた時、ちゅうちょなく立ち上がりイエスに従う、イエスの弟子となることが出来たのでは。

このあとレビはイエスとその弟子達、仕事仲間を招待して盛大な食事会を催した。それは自分がイエスの弟子となったお披露目、同僚とのお別れパーティ。みんな楽しく飲み食いしているとそこにファリサイ派の律法学者がやって来てイエスの弟子達に言った。「どうして彼(イエス)は徴税人や罪人と一緒に食事をするのか」。あんな律法を守らないくだらない連中と交われば汚れるじゃないか、と言って来た。

イエスは何と答えた? 『医者が必要とするのは、丈夫な人ではなく病人である。わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招くためである』。正しい人、品行方正な人を私は招かないよ。罪人、罪に泣く者、欠点のある者こそ私は喜んで招くんだ。そして共に歩き少しずつ少しずつ愛に生きる人間に変えて行くんだ。こうイエスは言う。罪人を招くイエスの両の手に飛び込んで行けたら。

集会案内

日曜礼拝：午前10時15分、日曜夕拝：午後6時

子どもの教会：日曜日午前9時

求道者会：日曜日午前9時40分

中高青年会：日曜日礼拝後

お話し会、卓球：水曜日午後1時～7時

お祈り会：水曜日午前6時、午前10時、午後7時